

平成29年度第8回 教育委員会会議 会議録

- 1 日 時 平成29年8月21日（月） 13：15～15：41
- 2 場 所 3号館8階 教育委員会室
- 3 出席者 <教育委員会>
雪村教育長 山本委員 梶木委員 伊東委員 福田委員 今井委員
<事務局>
川田教育次長 岡田スポーツ担当局長 浜本総務部長 大谷学校教育部長
日下社会教育部長 後藤教育施策推進担当部長
- 4 欠席者 なし
- 5 傍聴者 なし
- 6 会議内容

（雪村教育長）

それでは、ただいまより教育委員会会議を始めます。

本日は、議案2件及び報告事項5件です。

このうち、教第33号議案については、教育委員会会議規則第10条第1項第2号により職員の人事に関する事。教第34号議案については、同項第4号により、社会教育委員、公民館運営審議会委員及び法律または条例に基づき設置する附属機関の委員の委嘱及び解嘱並びに任免に関する事。報告事項1、報告事項2及び報告事項3については、同項第6号により、会議を公開することにより、教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じるおそれのある事項であって、非公開とすることが適当であると認められるものとして、非公開としたいと思っておりますが、賛同いただけますでしょうか。

（6名の賛成により非公開案件を決定）

（雪村教育長）

ありがとうございます。

それでは報告事項4、埋蔵文化財センターの利用状況について、文化財課より説明をお願いいたします。

報告事項4 埋蔵文化財センターの利用状況について

（安田埋蔵文化財センター担当課長）

本日は、埋蔵文化財センターの利用状況について報告させていただきます。

資料の1ページ目ですが、埋蔵文化財センターは平成3年に開設されました。所在地は

西神ニュータウンの中の西神中央公園です。昨年25年目を迎えました。

事業としては、1ページ目の下にある、①、②、③を主に行う、文化財課の一施設です。1つは、市内で大体900カ所の遺跡があり、年間20件から30件の発掘調査をしています。そこで出土した資料を保管・管理すること。2つ目として、出土した遺物を修復したり、展示に向けて補修したり、発掘調査報告書を作成して公開するという作業です。それから、3番目にそれらの資料を一般の市民の方に公開・活用するという、大きく3つの事業を行っています。

2ページ目、3ページ目に年間行っている事業と、その参加者数等を示しています。大体年4回の企画展示、それから昨年度は年間24回のさまざまな一般向けの講座や、小学生の方を対象とした体験講座をやっています。特に3ページ目の半ばにありますとおり、小学校への出張授業・出張講座・出張展示等にも力を入れています。埋蔵文化財ということで、市内全域の歴史的な、なおかつ最新の資料を扱うということが特徴ですので、特に小学校の団体の見学を受け入れたり、実際に学校に出向いて生の歴史の資料に触れていただいたりする事業を開催しています。そのほか、3ページ目にあるとおり、埋蔵文化財センターだけではなくて、市内にある史跡等でのイベントで積極的に公開活動事業を開催しています。

課題としては、大きく3つあります。開設から既に25年たち、資料の収蔵が飽和状態です。それから、25年の間に非常に重要な発見も相次いでいますが、企画展示以外で常時見ただけのような展示にはなかなかありません。それから、25年たった施設ということで、施設・設備の老朽化が進んでいることや、あるいは最新のいろいろな公開・活用事業に対応できるような施設にはなっていないところが挙げられます。

以上、御報告です。

(雪村教育長)

埋蔵文化財センターの状況について、いかがでしょうか。

(山本委員)

多くの神戸の学校園が、五色塚や大歳山の遺跡に来たときに説明していただくなど、お世話になっていることは重々存じています。この資料には神戸市内の小学校団体97校と書かれていますが、その他の学校園団体というのは主にどんなところがありますか。

(安田埋蔵文化財センター担当課長)

市内の特別支援学校や幼稚園、保育園にも御利用いただいています。

(山本委員)

幼稚園、保育園の子供たちはここへ来てどう過ごされるのですか。

(安田埋蔵文化財センター担当課長)

隣に広い公園があります。その公園に来たついでに、先生方をお願いして、子供たちと一緒に見てもらうようにしていただいています。

(雪村教育長)

幼稚園は私立も含めていますか。

(安田埋蔵文化財センター担当課長)

はい。

(雪村教育長)

では、この53校園には私立も入っているのですね。

(安田埋蔵文化財センター担当課長)

入っています。

(雪村教育長)

保育園は入っていないのですか。

(安田埋蔵文化財センター担当課長)

保育園も入っています。

(今井委員)

課題として、収蔵庫が飽和状態で、通路にあふれている遺物が6,000箱あると書かれているのですが、通路というのはお客様の通られる通路ですか。

(安田埋蔵文化財センター担当課長)

そういうことはありません。施設の中の大体3分の1が収蔵庫になっており、その棚に約3万3,000箱入るようになっているのですが、棚と棚の間の通路部分に通れるスペースは確保しながら、今約6,000箱があふれております。その下に書いてあるとおり、そのうちの5,000箱については、廃園になった北区の旧みどりのまち幼稚園の園舎を利用させていただいて、今年度中にそこに移動する予定になっています。ただ、移動しても、1,000箱は通路にあふれることになりまして、年間、多いときで数千箱、少なくとも数百箱ずつふえています。これは減ることはありませんので、今後も収蔵庫を確保していくことは、ずっと課題として残ります。

(梶木委員)

今のお話で、幼稚園や小学校に箱を入れるときに、空調などはなくても大丈夫なのか。

(安田埋蔵文化財センター担当課長)

ほとんどが土器類ですが、土器類については特に空調は必要ありませんので、今のままで大丈夫です。

(梶木委員)

小学生や幼稚園のお子さんがメインで来られていると感じたのですが、考古学入門講座や歴史講演会などの講座も開かれていますよね。それはどういう年齢層の方が来られるのですか。

(安田埋蔵文化財センター担当課長)

講演会ないし講座については、主に一般の方、成人の方にたくさん御参加いただいています。年間入館者全体の半分ぐらいが小学校団体で、残り半分ぐらいが一般の方というイメージです。

その写真に記載しているように、小学校の団体に向けて春と冬に展示を行っています。春の4月、5月は6年生の歴史教育が始まるころで、冬の2月、3月は3年生がちょうど昭和の暮らしを社会で勉強されるので、そのようなテーマを中心に展示しています。そのため、市内の小学校からたくさんの小学生に来ていただいています。秋については、神戸の歴史を詳しく説明するような割と専門的な資料を展示します。歴史に興味を持っていた方を対象とした展示になっていますので、その時期は一般の方の入館者が多いという状況です。

(山本委員)

2点お伺いします。小学校等への出張授業・出張講座・出張展示が平成28年度は14校になっていますけれども、これは毎年伸びているのですか。

(安田埋蔵文化財センター担当課長)

ここ数年は大体十数校になっています。これが始まったのがちょうどゆとり教育が始まったころで、学校園からも結構要望があったので、そのころは年平均20校以上行っていました。しかし、最近は学校も授業が結構詰まってきたため、減少しているようです。

(山本委員)

もう1点、体験考古学講座に来ている大人や子供というのは、やはり西区の方が多いのですか。

(安田埋蔵文化財センター担当課長)

半分弱ぐらいが西区の方ですが、結構市内各地から来ていただいています。この講座の情報は教育委員会だよりに記載していただいていますので、北区や東灘区からも来ていただいています。数はあまり多くはないですが、市内各地から来ていただいています。

(山本委員)

ありがとうございました。

(雪村教育長)

この資料は平成28年度の実績ですが、きのうもやっていたのですか。

(安田埋蔵文化財センター担当課長)

はい。きのうは夏休み最後の講座で、勾玉をつくろうという講座です。

(雪村教育長)

何人ぐらい来ていましたか。

(安田埋蔵文化財センター担当課長)

きのうは午前、午後とも20組ずつぐらいでした。ちょうどきのうは、日下部長にも来ていただきました。

(日下社会教育部長)

私も一緒に勾玉をつくらせていただきました。

(雪村教育長)

午前、午後20組ずつということは80人ぐらい来ていたということですか。

(安田埋蔵文化財センター担当課長)

そうです。

(雪村教育長)

去年で言うと、57人と記載されている「勾玉をつくろう②」ですね。

(安田埋蔵文化財センター担当課長)

そうですね。

(雪村教育長)

ことしは割と多いですね。

(梶木委員)

本学の学生がよくボランティアで行かせてもらっていますけれども、なかなか楽しいようです。ここのボランティアは人気があります。

(安田埋蔵文化財センター担当課長)

ちょうど夏休みの期間中、大学のボランティア活動でお手伝いいただいています。すぐに指導はできないのですが、大抵午前、午後の2回の講座になっていますので、午前中は実際に体験していただいて、午後からは指導に回っていただくというように、お手伝いいただいています。

(梶木委員)

ありがとうございます。

(安田埋蔵文化財センター担当課長)

こちらこそ、ありがとうございます。

(雪村教育長)

ほか特によろしいですか。

(「はい」の声あり)

(雪村教育長)

続いて、報告事項5、神戸市スマホフォーラムについて総務課よりお願いします。

報告事項5 神戸市スマホフォーラムについて

(仲田教育企画担当課長)

報告事項5、神戸市スマホフォーラムの報告です。

概要ですが、8月27日日曜日の13時半から農業会館で行われます。プログラムは記載のとおりですが、下から3つ目、14時20分から40分間の予定で中学生による実態調査とルー

ルづくりの取り組みについての発表が予定されています。

一番下がこれまでの取り組みです。7月14日の総合教育会議では子供を取り巻くスマホ・ネット環境について、意見交換していただきました。7月24日、25日のいきいき生徒会会議では、全9班のうち1班の中学生の生徒会役員がスマホとのつき合い方について議論し、25日の全体会で生徒自身が考えたスマホルールの3カ条について発表しました。1つ目は「顔を見ないことは心を見ないこと」、2つ目は「時は金なりースマホだけに時間を使っていいのー」、3つ目は「ストップ、危険へのステップ」という3カ条です。この3カ条を啓発するために、CMを作成しています。いきいき生徒会会議の全体会でもさわりの部分の紹介が少しありましたが、スマホフォーラムではそのあたりの啓発動画も含めた発表になるのではないかなと思っています。

3ページには、当日のスマホフォーラムのチラシを添付しています。

報告は以上です。

(雪村教育長)

神戸市スマホフォーラムについて、御質問ございませんか。

(梶木委員)

申し込み状況はどのようになっていますか。

(田中総務課調整係長)

先週段階ですが、100人もいっていない状態です。

(梶木委員)

期限はきょうまでですか。

(田中総務課調整係長)

受け付けを木曜日まで延ばしたそうです。集まりはあまりよくありません。

(梶木委員)

中学生が出ますよね。御家族にはお知らせしていますか。

(田中総務課調整係長)

その保護者には別途ご案内しています。

(雪村教育長)

農業会館大ホールには何人ぐらい入るのですか。

(仲田教育企画担当課長)

300人ぐらいだと思います。

(雪村教育長)

300人ですか。

会議の終わりまでに最新の申し込み状況を確認してもう一度報告してくれますか。

(仲田教育企画担当課長)

わかりました。

(雪村教育長)

特によろしいですか。

(福田委員)

中学校の中でどのくらい問題意識が共有されているのかということについて、感覚的にでも構いませんが、何かわかりますか。と言うのは、神戸市長を初め、有識者会議を立ち上げられて、非常に力を入れて、前向きに一生懸命取り組んでおられるので、神戸市が先端走った取り組みをやっているということをもう少しPRされたらどうかと思います。そのあたりがあまり聞こえてこないのが少し気になっていて、もったいない気がします。大事なことなので、その辺は少し留意されたほうがいいかなと思います。

スマホフォーラムが終わったとしても、この1回で終わるという話ではないと思います。継続して取り組んでいくことを前提にされて、有識者会議のメンバーの方とも取り組み方を相談していただいて、取り組まれたらいいかなと思います。

(仲田教育企画担当課長)

わかりました。

(梶木委員)

兵庫県もスマホフォーラムのようなイベントをやっていませんでしたか。

(仲田教育企画担当課長)

やっています。

(梶木委員)

同じ時期ぐらいですかね。

(仲田教育企画担当課長)

時期は少し違います。12月あたりですね。

あと、スマホを断ち切ろうというようなイベントでキャンプを夏に実施されています。

(雪村教育長)

これは企画調整局が主催で行っているのですが、どれくらいPRが行き届いているかですね。一般市民の方で埋まるのが一番いいのですけれども、教育委員会事務局内でも学校教育課の人権ラインが、かなり早目からこのようなネット教室を開いてきています。あと1週間あるので、どういう形で行うのか企画調整局ともう一度よく相談してください。

学校現場にチラシを配ってはいけないということがひょっとしたら足かせになっているのかもしれませんが。あちこちで影響が出ているという話もあります。

(仲田教育企画担当課長)

チラシもさることながら、今回、広報自体が夏休みに入ってからになりましたので、学校にはなかなかお知らせができませんでした。

(梶木委員)

SNSやスマホで流したらどうですか。

(雪村教育長)

そうですね。

(梶木委員)

さっと流れると思いますけどね。

(雪村教育長)

ほか、よろしいですか。

(「はい」の声あり)

(雪村教育長)

ありがとうございます。

では引き続き、主要行事の報告と予定について、総務課より説明してください。

その他報告事項 主要行事予定

(豊永総務課長)

主要行事の報告と予定ですが、8月8日以降の主要行事については記載のとおりです。

今後の主要行事予定ですが、8月19日土曜日から9月2日土曜日まで教員採用候補者選考試験の二次選考となっています。8月25日金曜日は小学校長会との教育懇談会。27日日曜日は先ほどお話のありましたスマホフォーラムということで、梶木委員に御出席いただけると聞いています。9月5日火曜日は神出自然教育園の視察。8日金曜日は神戸ゆかりの美術館の特別展の開会式です。

教育委員会会議の日程ですが、9月15日金曜日13時15分から定例会を予定しています。

主要行事については以上です。

(雪村教育長)

御質問や、何かつけ加えることはございませんか。

その他、教育委員の皆さんから教育委員会会議で取り上げるべき項目について、御意見はございませんか。

何かありましたら、また後日でも結構ですので、事務局までお伝えいただきたいと思います。

ここで公開案件については全て終了しました。

ここから非公開案件に入ります。

続いて、教第34号議案、神戸市校区調整審議会委員の解嘱及び委嘱の件についてお願いします。

教第34号議案 神戸市校区調整審議会委員の解嘱及び委嘱の件

(岡本学校計画担当部長)

議案1件と報告事項1件です。よろしくお願いします。

(杉浦学級増対策担当課長)

教第34号議案、神戸市校区調整審議会委員の解嘱及び委嘱について御説明します。資料の3ページをごらんください。

神戸市校区調整審議会は執行機関の附属機関に関する条例により、神戸市立小学校及び中学校の校区についての調査・審議に関する事務を担当する附属機関として設置されており、今回御提案している委員の解嘱及び委嘱は、神戸市校区調整審議会規則第3条第2号の市民・地域の代表者、第3号の市職員、第4号の市立学校教職員の代表者について、関係機関及び団体の役員改選などによる交代です。

2ページの委員名簿案をお開きください。

左側が現在の委員名簿で、右側が今回の解嘱及び委嘱による変更の名簿です。まず、市民・地域代表ですが、中学校PTA連合会の代表が帆足広明様から花木克己様にかわりま
す。神戸市選挙管理委員会委員長については、寺坂光夫様が御退任され、森脇英雄様が選
任されています。次に、市職員ですが、区長会の代表が谷口真澄前東灘区長から榎野敦雄
東灘区長にかわりま
す。教員代表ですが、小学校校長会の代表が川本京子校長から光田多
賀子校長にかわりま
す。

以上、いずれの皆様も、教育活動及び市政に従事されている方々であり、それぞれの立
場から校区調整の審議に貴重な意見をいただけると考えています。

なお、小学校PTA連合会の代表ですが、湯田力様の後任がまだ決まっていないので、
今回は湯田様の解嘱のみにさせていただき、後日決まりましたら、改めて御審議の上、委
嘱させていただきたいと思ひます。

なお、本来の任期が平成28年9月1日から平成30年8月31日までの2カ年となっていま
すが、今回の委員委嘱は関係機関及び団体の役員改選等に伴うものですので、神戸市校区
調整審議会規則第4条2項の規定により、今回委嘱します委員の任期は、前任者の残任期
間となる平成29年9月1日より平成30年8月31日までとなります。

校区調整審議会委員は、校区調整審議会規則第3条の規定により、教育委員会が委嘱す
ると定められているため、今回議案として提案しています。よろしく御審議をお願いしま
す。

(雪村教育長)

教第34号議案ですが、いかがでしょうか。

承認いただいでよろしいでしょうか。

(6名の賛成により可決)

(雪村教育長)

以上で教育委員会会議を閉会します。

閉会 : 午後3時41分